



トピックス

乳幼児期の事故について



毎年の全国統計によると、子供の死因順位は、先天性疾患や病気を除けば、0歳では乳幼児突然死症候群・不慮の事故が1, 2位、1歳から5歳までは不慮の事故が1位となっています。これは乳幼児期の不慮の事故の多さを示しています。

0歳児から1歳半頃までの死因の上位を占める乳幼児突然死症候群は、原因がまだはっきりしていない病気ですが、それまで元気だった赤ちゃんが事故や窒息ではなく睡眠中に突然死亡するという病気です。12月以降の冬場に多く見られます。この突然死の危険因子としては、うつぶせ寝、両親の喫煙などがあります。寝返りが出来ない子供のうつぶせ寝は避け、小さいうちは出来るだけタバコの煙から遠ざけてあげてください。またこの時期の事故原因として、嘔吐物による窒息や、柔らかい布団や枕による首の屈曲に伴う窒息が挙げられます。特に自分で移動が出来ない時期の子供は柔らかい寝具の上や段差のあるクッション、ソファーなどに寝かせるのは避け、事故を未然に防いであげることが大切です。

子供の成長発達に伴いできることが増え行動範囲が広がるということは、様々な事故の危険性が高まることを意味します。生後5-6ヶ月頃になると小さなものを自分でつかめるようになり、何でも口に入れようとして。特にピーナッツは気管に入ると水分を吸収して大きくなり取り出しにくくなると同時に強い炎症を起こすことが知られており、命に関わるような気道閉塞をきたすことがあります。また寝返りなどをした際には衣服の紐やよだれかけなどが絡まり窒息事故を起こすこともあります。寝かせる際はそれらを外すという配慮が必要です。また寝返りをしだし歩き出までの2歳くらいまでの時期は、さらに誤飲による事故が多くなります。タバコ、ボタン電池やおもちゃの一部などを誤飲し慌てて病院に駆け込んだという保護者の方も多いのではないのでしょうか。乳幼児が飲み込めるものの長さは51mmと言われています。このサイズ以下のものは子供の口に入らないようにするため、床から1m以上の高さ上げておくようにしたほうが良いでしょう。また誤飲以外にも転倒、転落、やけどなどの事故にも注意が必要です。乳幼児は体の大きさに比べ頭が大きいので重心が高く、もともと転びやすく起き上がりにくい体型をしています。特に湯船の中に落ちたりすると、わずかな残り湯でも起き上がれず容易に溺れてしまいます。湯船の湯はすぐに抜くようにしたほうが安全です。3歳を過ぎた子供は行動範囲がさらに広がります。また、目の前に物があると夢中になると周囲のことが見えなくなるため、飛び出し事故や遊具からの転落事故などに注意が必要です。

普段から環境について注意を払い出来るだけ危険因子を排除してあげることが子供の健やかな成長につながります。また保護者のみならず周囲の大人も気をつけて社会全体で子供を守っていくという姿勢も重要です。子供は社会の宝です。

新生児科 診療部長 長谷川 恵子



MFIUに長期入院し、お産をされたお母さんにお話を伺いました。今号は、4月に出産された 莉玖斗くん 莉稟ちゃんのお母さんです。

※MFIU(母体胎児集中治療室)とは、Maternal Fetal Intensive Care Unitの略で、切迫早産やハイリスク妊産婦さんなど、高度医療を必要とされる方が入院されています。

『やっと逢えたね』

何度も2人を無事に産むことができないんじゃないかと涙した日もあったけど、こうして2人を抱っこし、一生懸命おっぱいを吸ってくれる2人をみていて本当に嬉しいです。不安だった妊娠生活を思えば、どんなに泣いても愛しく、毎日が幸せな日々です。パパもママも2人を心待ちにしていたんだけど、一番はりあお姉ちゃんなんだよ。

「ねーねの宝物はりくちゃんと、りんちゃんだよ」ねーねより。

入院中に感じたこと、心がけていたこと、心の支えになったことなどはありますか？

妊娠がわかったと同時に出血もあり、それから37週1日になるまで安静の日々になりました。双子ということもあり、ついに30週には切迫早産で入院になりました。入院中は時間がなかなかたたくなくて、ただベッドの上で安静に過ごす日々。考えなくてもいいことを考えて不安になったり、携帯検索してしまったりしましたが、結局は私の妊娠は誰とも比べられないなと思い、それからは妊婦生活を楽しむことに専念しました！毎日、先生も様子を見に来てくださったし、助産師さんも不安なことをすぐに聞けるような環境を作ってくれたので、不安に思うこと、要望はすぐに言うことが大事だと思います。ストレスは禁物です。

また、それでも家族と離れて1人過ごすのは本当に辛く、特に上の子と離れることが本当に辛かったです。妊娠がわかってから、お姉ちゃんには我慢させることが増え、卒園式も入学式も行けないとわかった時はさすがに1人病室で泣きました。しかし、母親の心配をよくよそに、お姉ちゃんはお姉ちゃんになる準備がしっかりできていて、泣くこともなく、「赤ちゃんが元気に産まれてくるためなら全然がまんできるよ」って言うてくれて、産まれてくるまでたくさんの手紙と絵をプレゼントしてくれました。あとは、私は側にいてあげられないので交換日記もしました。ひらがなの勉強にもなったし、たくさんのメッセージを書いてくれて宝物のノートです。



「りくと りん」
春に産まれてくるので、本当ははるきくんとはなちゃんの前ででしたが・・・お姉ちゃんに却下され(笑)
「りくと りんにする一つ」とお姉ちゃんの一言で決まりました。同じ『り』がついてほしかったそうです。なので、みんな「莉」で繋がるようにしました。

りんちゃん & 莉玖斗くん
平成28年4月19日 生まれ

ご家族の皆さんに伝えたいことはありますか？

パパへ
妊娠中から心配性の私を何度も何度も励ましてくれて、なぜか「大丈夫、大丈夫な気がするから！」って毎回根拠なんてなかったはず(笑)なのに、なぜか安心して、無事に産むことができました。言わないけど感謝しています(笑)

お母さんへ
産前産後の手伝いと莉愛のお世話のために佐世保からきてくれてありがとう。莉愛が規則正しい生活に慣れて、毎日楽しく学校に行っているのも、お母さんが小学校に行くための準備をやってくれたからだと思います。そして、退院してからは家事と3時間おきの授乳に起きてくれて本当に感謝しています。

莉愛へ
「ママのお腹には2人赤ちゃんがくるよ。りあは弟、妹ができるんだ〜」っていった、莉愛ちゃん。本当に叶ったね♪
2人が無事に産まれることを一番願っていた莉愛ちゃん。たくさんの手紙と絵をプレゼントしてくれたおかげでママは頑張れたよ。毎週、天満宮にお参りしてくれてありがとう。

今、嬉しそうにりくとりんをあやしている莉愛ちゃんを見てママは、幸せです。ねーね、頼りにしてるよ!!

これから出産を迎えるママやパパ達へ、メッセージをお願いします。

私は上の子がいたので、一番は残された家族がちゃんとして生活できているかがとても心配でした。妊娠はいつ入院と言われるかわかりません。経産婦ママは上の子はどーするのか。早めに対処法を考えておくべきです!!

私は双子妊娠だったので37週1日で予定の帝王切開でした。私の目標は無事に満期まで来て、2人と一緒に退院することでしたが、2人とも低血糖でGCUに入院になりました。ずっと、入院中なんとか元気に産みたいと誰もが思います。ただ、もしも早く産んでも、少し元気がなく治療が必要となっても、新生児の先生をはじめ、周産期4階のスタッフの皆様が大事に育てて下さいます。先生をはじめ、助産師さん、看護師さんに頼って、入院中なかなか難しいですが、妊婦生活を味わって下さい!!
私はどうしてもやりたかった『妊婦フォト』を病室でやりました(笑)



センター稼働状況

分娩数	66件	緊急帝王切開	9件
母体搬送	6件	NICU稼働率	74.7%
新生児搬送	2件	MFIU稼働率	84.9%

(平成28年10月)

「紅葉の中をドライブ」 編集後記



今年秋を感じる間もなく、冬がやってきましたね。沿道の木々も気が付いたら色づいていました。店先にはクリスマスの雑貨が並び、気分は12月。これから年末にかけてイベントが多くなります。手洗い・うがい心がけ、厳しい冬を乗り越えましょう!
(T.O.N.S.Y.M.K.H)



周産期センターキャラクター マミー&メイ

by. お飾り隊